

9. 地域別の推進施策

①安宅海岸地域

【テーマ】 海岸林と北前船の寄港地として育まれた歴史文化が息づく・みどりのまちづくり

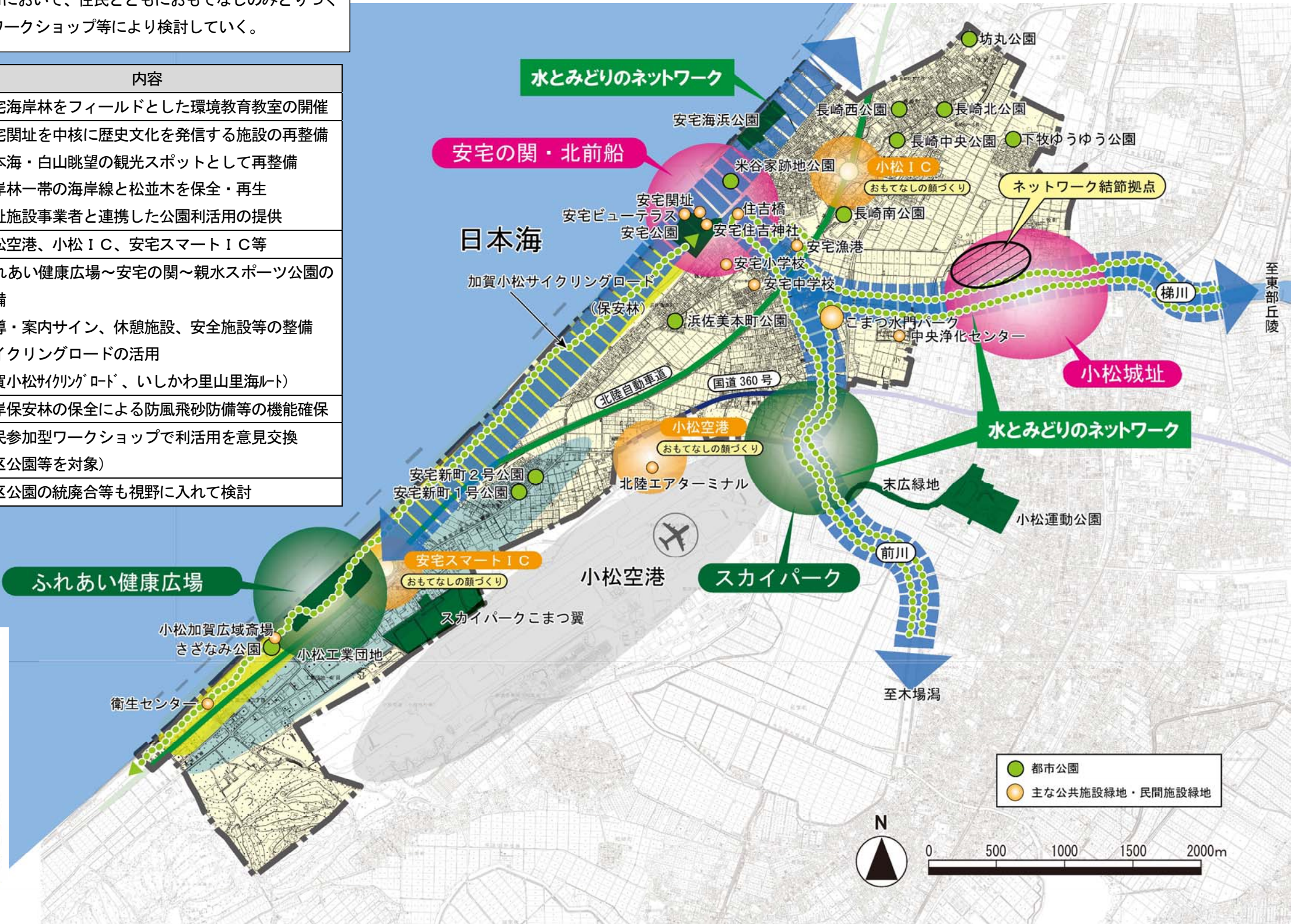
基本的な考え方

- 日本海沿岸において帯状に広がるクロマツの海岸林を保全し、次代に受け継いでいくとともに、安宅の関の歴史文化資源と融合した公園緑地として再整備し、交流人口の拡大を促進する。
- 梯川と前川が合流し、安宅海岸へ導く「水とみどりのネットワーク」を形成する。
- 小松空港、小松IC、安宅スマートICなどの本市の玄関口において、住民とともにおもてなしのみどりづくりに取り組むとともに、身近な公園の利活用方法についてワークショップ等により検討していく。

基本方針	みどりの取り組み	内容
環境	身近な自然とのふれあい交流の推進	○安宅海岸林をフィールドとした環境教育教室の開催
景観	史跡・名勝等の保全・再整備	○安宅関址を中核に歴史文化を発信する施設の再整備 ○日本海・白山眺望の観光スポットとして再整備 ○海岸林一帯の海岸線と松並木を保全・再生 ○福祉施設事業者と連携した公園利活用の提供
	おもてなしの顔づくり	○小松空港、小松IC、安宅スマートIC等
レクリ	水とみどりのネットワークの推進	○ふれあい健康広場～安宅の関～親水スポーツ公園の整備 ○誘導・案内サイン、休憩施設、安全施設等の整備 ○サイクリングロードの活用 （加賀小松サイクリングロード、いしかわ里山里海ルート）
防災	グリーンインフラの保全・活用	○海岸保安林の保全による防風飛砂防備等の機能確保
共創	市民主体による公園利用・運営制度の導入	○住民参加型ワークショップで利活用を意見交換 （街区公園等を対象）
	都市公園の集約化（再編）	○街区公園の統廃合等も視野に入れて検討



安宅の関再生イメージ



② 梯川地域

【テーマ】加賀國府と町衆文化を結ぶ「ミズベリング」による・みどりのまちづくり

基本的な考え方

- 安宅海岸とつながる小松城址、加賀國府、そして、遊泉寺銅山跡を結ぶ10キロの「水とみどりのネットワーク」を形成し、市民の健康増進ともに木場潟に次ぐ新たな水辺の交流空間として全国に発信する。梯川付近の公的な未利用地を活用した駐車場の整備、サインや休憩施設等の充実、安全対策等の歩行環境の向上を図る。
- まちなかの歴史文化資源や小河川を結びつけた散策ルート、おもてなしの景観づくりを市民とともに取り組む。
- 街区公園等を対象に身近な公園の利活用方法について住民参加型のワークショップ等により検討していく。



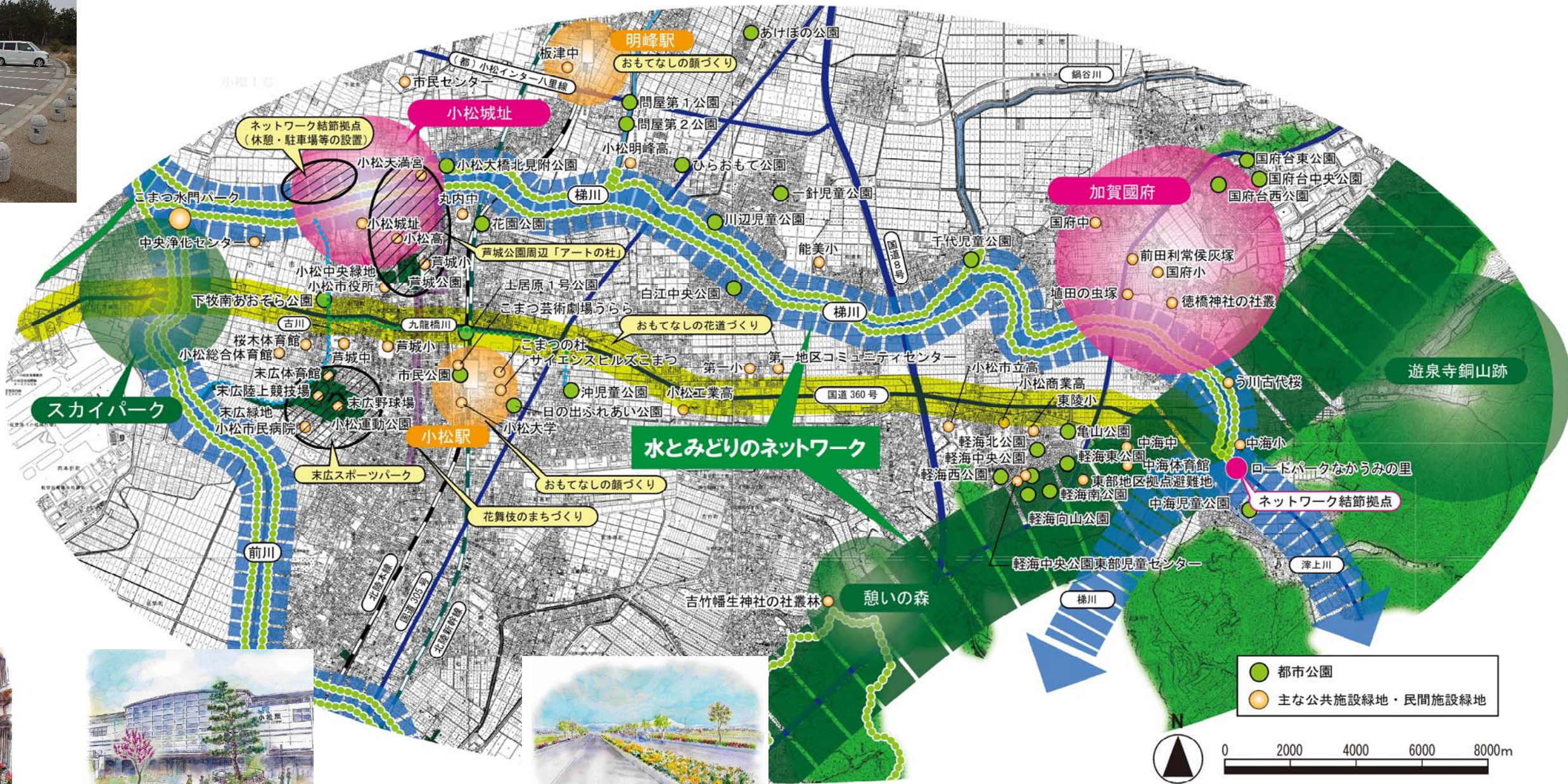
花舞伎のまちイメージ



小松駅シンボルツリー広場イメージ



おもてなしの花道づくりイメージ

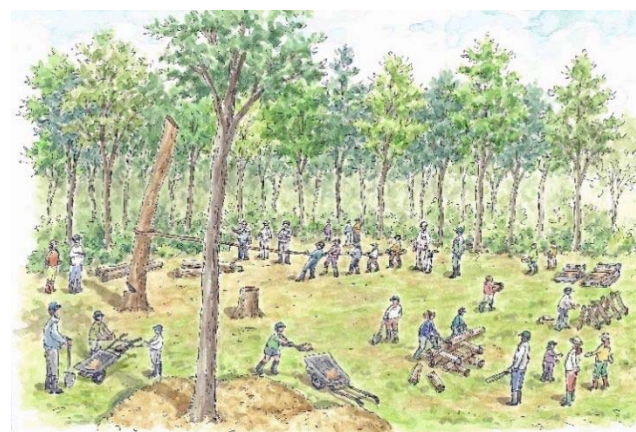


基本方針	みどりの取り組み	内容
環境	身近な自然とのふれあい交流の推進	○梯川の水辺空間をフィールドとした環境教育教室の開催
景観	芦城公園周辺「アートのかみ」の形成	○芦城公園、小松城址、小松天満宮等を一体的に捉えて再整備
	花舞伎のまちづくり	○旧北国街道沿いの電線類の地中化事業と連動し、住民らとともに花とみどりの景観づくりを推進
	おもてなしの花道づくり	○国道 360 号沿線で高校生や市民とともに彩りのみちづくりを推進
レクリ	水とみどりのネットワークの推進	○ロードパークなかみ〜（梯川）〜親水スポーツ公園区間の「ミズベリング」の整備 ○誘導・案内サイン、結節点駐車場（下牧地区）、休憩施設、安全施設等の整備 ○九龍橋川、古川による身近な水とみどりの散策コースの形成
	末広スポーツパークの機能強化	○小松運動公園、末広緑地、市民病院周辺の緑化を推進
防災	都市公園の防災機能の強化	○新たな拠点として下牧エリアの防災機能の確保
共創	民間活力による公園緑地資産の活用	○中心市街地に分布する近隣公園、地区公園等を対象としたサウンディング調査の実施
	市民主体による公園利用・運営制度の導入	○住民参加型ワークショップで利活用を意見交換（街区公園等を対象）
	都市公園の集約化（再編）	○街区公園の統廃合等も視野に入れて検討

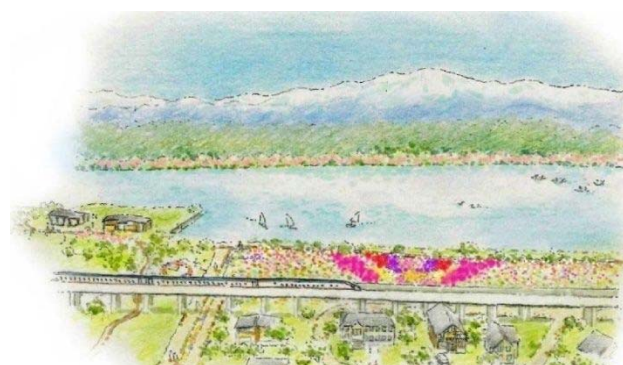
基本的な考え方

- 加賀三湖と呼ばれた今江潟や柴山潟の干拓農地等の田園風景を保全し、白山眺望を楽しむ景観として魅力を高めていく。
- 前川から木場潟、日用川から粟津温泉につながる「水とみどりのネットワーク」を充実させ、市民の健康増進とともに観光客も楽しむ観光メニューとして定着を図る。
- 街区公園等を対象に身近な公園の利活用方法について住民参加型のワークショップ等により検討していく。

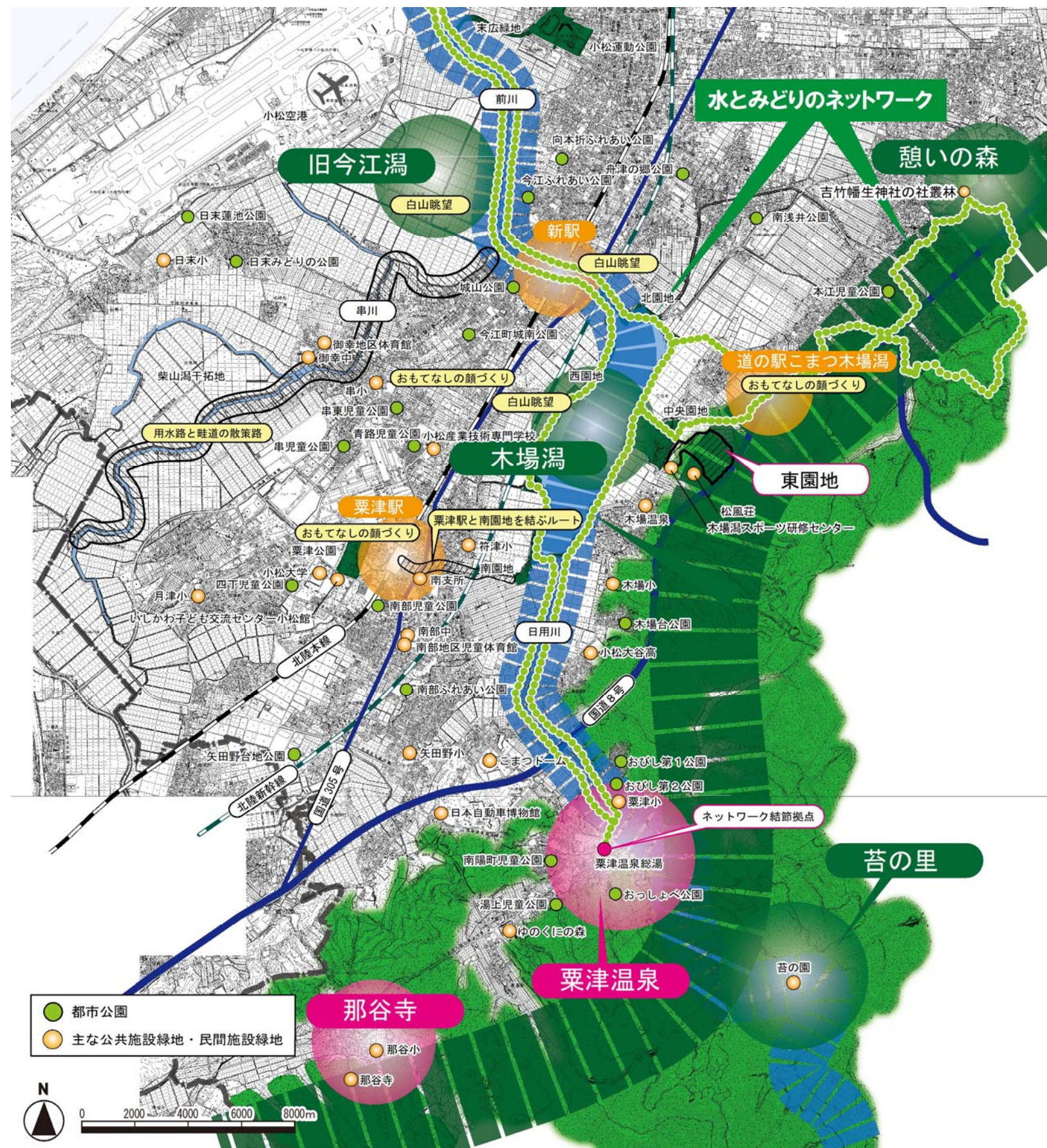
基本方針	みどりの取り組み	内容
環境	いのちを育む水資源管理と生物多様性の保全	○市民とともにヨシ原再生、木場潟クリーン作戦等の継続・木場潟の水質保全
	身近な自然とのふれあい交流の推進	○水辺の貴重な動植物を対象に環境教育を推進（木場潟公園ビオパーク、いしかわ自然学校等）
景観	おもてなしの顔づくり	○道の駅こまつ木場潟、粟津駅、新駅
レクリ	水とみどりのネットワークの推進	○親水スポーツ公園～（前川）～木場潟～（日用川）～粟津温泉総湯区間の「ミズベリング」の整備 ○誘導・案内サイン、休憩施設、安全施設等の整備
	こまつらしい公園緑地の整備・再整備	○里山を活かした木場潟公園東園地の整備
	農地とみどりの散策コースの創設	○南加賀道路沿線（旧今江潟周辺）の農園との連携した散策コースの設定や畦道法面を花植えたフラワーロードの形成
防災	都市公園の防災機能の強化	○木場潟公園の防災機能の強化等
共創	市民主体による公園利用・運営制度の導入	○住民参加型ワークショップで利活用を意見交換（街区公園等を対象）
	都市公園の集約化（再編）	○街区公園の統廃合等も視野に入れて検討



里山活動



白山眺望



④東部丘陵地域

【テーマ】産業都市こまつの源流を感じる・みどりのまちづくり

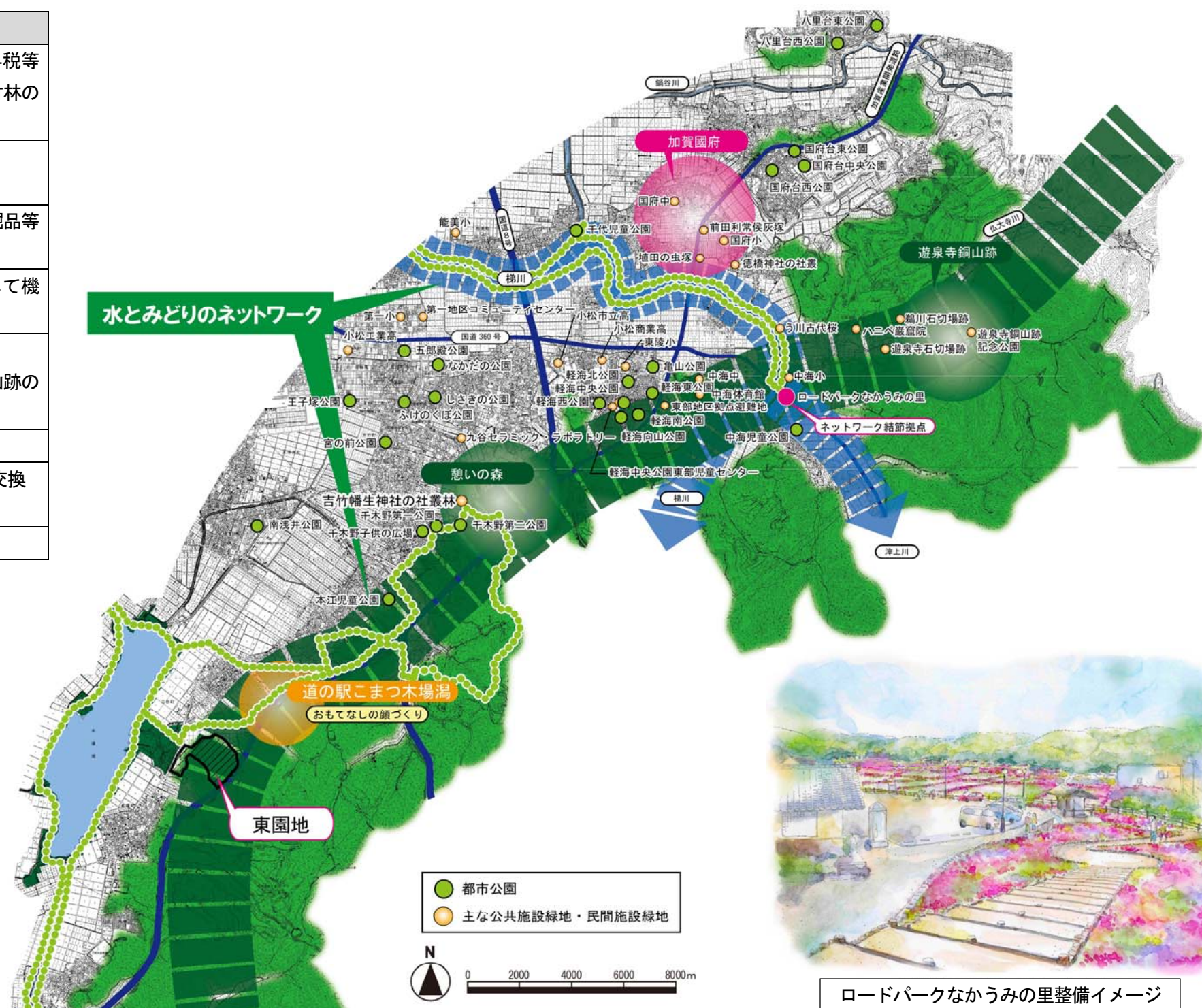
基本的な考え方

- 加賀国府（推定地）や遊泉寺銅山跡、憩いの森、小松の石文化等の地域の豊かな自然・歴史文化、産業資源を有効に活用する公園緑地を共創により整備し、交流人口を創出する。
- 手入れ不足等により荒廃する東部丘陵地において、竹林除去、間伐や下草刈り等を市民とともに実施し、生きた里山として再生・保全するとともに土砂災害等の防止するグリーンインフラとして保全していく。
- 街区公園等を対象に身近な公園の利活用方法について住民参加型のワークショップ等により検討していく。

基本方針	みどりの取り組み	内容
環境	森林の適正管理と木材の活用拡大の両立	○東部丘陵地の里山林を対象に森林環境譲与税等を活用し、手入れ不足人工林の整備や放置竹林の除去等を推進
	環境王国こまつのブランド力向上・魅力発信	○里山や石文化等の魅力を発信
景観	史跡・名勝等の保全・再整備	○加賀国府立国1200年に向け、埋蔵文化財発掘品等の活用によるイベント開催
レクリ	水とみどりのネットワークの推進	○ロードパークなかうみの里を結節拠点として機能拡充
	こまつらしい公園緑地の整備・再整備	○里山を活かした木場潟公園東園地の整備 ○地域住民、経済界等の連携による遊泉寺銅山跡の公園緑地の整備
防災	グリーンインフラの保全・活用	○里山林等の保全による土砂災害等の防止
共創	市民主体による公園利用・運営制度の導入	○住民参加型ワークショップで利活用を意見交換（街区公園等を対象）
	都市公園の集約化（再編）	○街区公園の統廃合等も視野に入れて検討



遊泉寺銅山跡記念公園 里山みらい館イメージ



ロードパークなかうみの里整備イメージ